

7 番 瀬 戸

受付番号6番、議席番号7番、瀬戸伸二。

件名、新東名開通後の環境問題は。

令和5年新東名の開通により、当町もスマートインターの利用が可能となり、産業、観光の発展が望まれるところです。しかし、新東名は、当町に4つのトンネル4つの橋梁を有し排気ガスによる環境問題が心配されます。

NEXCO中日本の説明によると、現在は車の性能の向上とディーゼル車の規制により、大気の状態は、平成6年を100とすると10分の1以下に抑えられていると言うが、地域の説明会や新東名対策協議会等で、具体的な数値を求めても「現在調査中」とのことで聞き出すことができません。また、当町環境課に現在の大气と騒音に対するデータを聞いたところ、当町では調査がされていないとの回答でした。

新東名開通により、当町では国道246号線、東名、新東名と主要幹線道路が3本通ることになります。この機会に現在と開通後の環境状況を調査する必要があると考え、以下の3点を質問します。

1、町内の大気の状態を、町民に数値が示せるよう町からNEXCO中日本に働きかけるべきと考えるがいかがか。

2、同様に騒音についても考えるがいかがか。

3、高松トンネル工事区において、希少動物の生息が確認され、工事方法が変更されたと聞く、希少動物の保護保全はどうするのか。以上3点です。

議 長

答弁願います。町長。

町 長

それでは、瀬戸伸二議員から「新東名開通後の環境問題は」についての御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の「町内の大気の状態を、町民に数値が示せるよう町からNEXCO中日本に働きかけるべきと考えるがいかがか」についてありますが、新東名高速道路の建設に際しては、平成25年1月の「工事用道路に関する確認書」及び「新東名高速道路の施工・運用に関する要望及び回答」に基づき、NEXCO中日本が、工事着手前、工事期間中、工事終了後に大気環境調査を実施することとなっており、現在は、工事期間中の調査を実施しております。

調査測定は、四半期ごとに実施し、いずれも環境基準値以内におさまって

おり、なお、結果の詳細につきましては、新東名対策室で閲覧をすることができます。

次に、2点目の御質問の「同様に騒音についても考えるがいかが」についてであります。NEXCO中日本に確認したところ、騒音については、推定交通量等の推計や最新の知見に基づき、遮音壁等の必要な箇所の予測を行い、環境保全対策を講じていくということです。

現在、NEXCO中日本からは、新東名対策協議会を中心に意見交換会の場で、進捗状況等について報告を受けておりますが、地域住民の皆さんの不安が払拭できるように、引き続き、NEXCO中日本に対し、丁寧な説明等を求めていますと考えております。

次に、3点目の御質問の「高松トンネル工事区において、希少動物の生息が確認され、工事方法が変更されたと聞く、希少動物の保護保全はどうするのか」についてであります。NEXCO中日本では、専門家で構成する「新東名高速道路自然環境検討会」を設置し、希少動物に対する保全対策等について検討し、必要な対策を実施しているとのことです。

NEXCO中日本レポート2019では、これらの取り組みを紹介しており、「エコロードづくり」の一環である「猛禽類に配慮した計画」により、工事時間の調整や低騒音重機の使用、さらに猛禽類の繁殖環境を守るために、人工の巣を設置したところ、クマタカの産卵・抱卵が確認されるなど、専門家からは「これまでに前例のない大きな成果である」との意見があったことが報告されております。

本町にも、「丹沢大山総合調査学術報告書」等によると貴重な動植物が生息していることが確認されており、NEXCO中日本では、環境アセスメント法に基づく対策を実施しております。今後も生物多様性の観点から、必要な対策をNEXCO中日本にお願いしていきたいと考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 御答弁の中の3番目の質問になるんですが、ここに、私の場合は希少動物という表現をさせていただいたんですが、具体的にクマタカという名前が出ております。NEXCOによると人的被害を避けるためにということで、私のほうに通告があったのは、希少猛禽類ということしか伺ってないんですが、

この場で公にしても大丈夫ですか。

議 長 環境課長。

環 境 課 長 お答えさせていただきます。先ほど町長の答弁の中で、クマタカということで答弁がありましたのは、こちらのNEXCO中日本レポート2019の中に掲載されています他の高速道路で猛禽類に配慮した計画という中で、そのクマタカの産卵ですとか、抱卵等が確認されたということが、こちらに載せているということで、こちらのレポートにそういうのがありますと。これに準じた形で山北町に生息している動植物についても、そういうような形でやっているということの答弁でございますので、山北町にクマタカがいるとか、そういった形での説明ではございません。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 山北町にクマタカがいるかどうかということではないということなんですけれど、もしクマタカであった場合、クマタカは絶滅危惧種に値する猛禽類なんで、保護に関する法律等も結構細かく載っているんですけど、今の段階で、町がこの希少動物に関してはどのようにかかわっているのか、教えていただきたいと思います。

議 長 環境課長。

環 境 課 長 町としましては、希少動物等について、どのようにかかわっているかという御質問なんですけど、特にこれだということで、何か対策を打っているということではございません。ただ、先ほど町長の答弁にもございましたけれども、今は生物多様性ということで、豊かな自然は多くの動植物が生息していることが豊かな自然だということでございますので、例えば工事等についても環境に配慮した工事とか、そういった間接的な形での取り組みという形になってございますので、直接、その動植物に対して何かということではない、の取り組みではございません。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 もう一つは、この完成後なんですけど、完成後が高松トンネル出入り口のところ周辺ということで、その希少動物に対する環境というのが、結構難しい状況かなと思うんですけど、その辺はどうお考えになっているのでしょうか。

議 長 環境課長。

環 境 課 長 開通後の環境ということでございますけれども、先ほども御説明しましたように、町で直接何か猛禽類を保護するという対策というのは、現時点では考えていないところでございますが、ただ、丹沢につきましては、広く希少な動植物が生息しているという中では、環境団体の方からかなり町のほうにも情報提供等をいただいております。そういった情報提供をもとに、必要があればまたそういったことを検討していかなければいけないというふうには考えておりますけれども、現時点では何かやるということは考えていないところでございます。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 ちょっと前半の質問とは逆行するんですけれども、矛盾しますけれど、逆に希少動物を公にして、山北町の観光として見せることはできないものでしょうか。

議 長 副町長。

副 町 長 この町長のお答えにもあったように、新東名高速道路の自然環境検討会という組織の動きに従いまして、NEXCOが実施することで、町が実施主体でこうなんだからこうなんだということではなく、町としては、やはり周り、この研究会の報告とか、その辺のところで判断して、過去に希少動物が山北のところにはいたという程度の今の段階は、その程度だと思えます。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 絶滅危惧種等の保存に関する法律によると、その研究団体と、あと地方公共団体と連携によりという部分があるんですけれども、今NEXCOというあれが出ましたけど、その連携についてはどうお考えになるのでしょうか。

議 長 環境課長。

環 境 課 長 今、連携というところの部分でございますが、神奈川県生物多样性で県と市町村の連絡会がございます。また、丹沢大山再生委員会にも山北町はメンバーとして入っております。その構成メンバーには、野生鳥獣等動植物にかかわらず、さまざまな学識経験の先生方も入っているという中で、そういった中で情報提供を、情報共有をしながら、県と町と、またそういった団体と連携を図りながらやれるものなのかなというふうにご考えており

ます。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 希少動物については、やっぱり保護・保全というのが大事になってきますので、開通後もその辺をしっかりとやっていていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、1番と2番を連携して、ちょっと質問させていただきますが、数値は新東名対策室のほうにあるということなんですけれど、町民に対するアナウンスはされているでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 データが向原に限っておりますので、向原対策協議会さんとは話し合っ、向原対策協議会さんのほうで、データは新東名対策室のほうで閲覧をできるようにしておいてくださいという約束で、今の状態になっておりますので、全町民の方に対してのアナウンスはしておりません。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 開通後も心配なんです、今現在、246、東名に挟まった地域等ございます。開通後は246、東名、新東名が重なる地域もございます。それと、トンネルの出入り口、具体的に言うと湯触トンネルの入り口、出口の部分には住居も存在し、共和側には道路の上のほうに住居も存在するというような形で、環境問題がちょっと心配されますが、そういう地域での調査ということは考えていらっしゃるでしょうか。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 町では調査するというではなく、中日本高速のほうにお願いをしていくような形になるかと思っております。開通後についても、町長答弁がありましたように、中日本のほうへ依頼をしていくような形で考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 数値のことなんですけれど、現状と開通後というのは、すごい重要な意味を持ってくると思うんですよ。そこで、やっぱり今、先ほど申したような重なっている地域とか、今後重なる地域の現状を中日本に調べさせる必要があるんじゃないかなと私は思うんですが。

議 長 新東名対策室長。

新東名対策室長 議員のおっしゃる点もあろうかと思しますので、中日本のほうに、その点について再度、町からそういう点についての検討をお願いするようにしていきたいと考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

7 番 瀬 戸 最後になりますけれど、山北町は自然環境を大切にしている町だと思っております。そういう意味で環境に対する数値というのが重要になってこようかと思しますので、これからも真摯に受けとめていただいて、調査をしていただければと思しますので、よろしく申し上げます。

以上です。

議 長 町長。

町 長 これからも、山北町の自然環境については、町だけの対策では、当然追いつかないところがありますけれども、非常に丹沢大山の自然に関しては希少な動植物がいるということで、一番の懸念をされているのは、人間がやはり手が入り過ぎるオーバーユースが一番の問題だろうというふうに、もう何年も前から言っております。それから、もう一つは、やはり地球の温暖化で酸性雨であるとかさまざまな問題が、大気が動くことによって起こるということで、一つの地域だけで防げるというようなことではございませんので、そういったような地球全体の中で、やはり環境問題というのは、非常に大事な問題だろうというふうには思っておりますので、その中で山北町の自然環境を末永く子どもの代まで、孫の代まで残していきたいというふうに思っております。